

# 育成 見附

## 見附市青少年育成センター

〒954-0051 見附市学校町 2-7-9

TEL 0258-62-5739 FAX 0258-62-2343

Mail : ikuseicenter@city.mitsuke.niigata.jp

## 見附市青少年育成センター30年度の取組

5月10日に開催された「見附市青少年育成センター運営委員会」で今年度の育成センターの運営について、次のように承認されました。恒例の事業を改善・充実させ、効果的に取り組んでいきます。

### 1 運営の目的

青少年の健全育成を総合的に推進する。

### 2 運営の方針

- (1) 青少年の健やかな成長を支えます。
- (2) 青少年の非行の未然防止と早期発見に努め、楽しい生活を送るためのアドバイスを行います。
- (3) 青少年の悩みや心配事を、青少年・保護者と一緒に考えます。

### 3 主な事業

#### (1) 街頭指導事業 <愛の一声で非行防止>

青少年が集まりやすく保護者や学校の目の届きにくい場所を巡回し、非行に結びつくと思われる行為に対し、愛の一声注意・助言等の適切な指導の手をさしのべ、青少年の自省を促すことで非行を未然に防止していきます。

#### (2) 育成相談事業 <青少年なんでも相談>

青少年の不登校、怠学、いじめ、非行等の問題行動や悩み事に関する本人、保護者、学校職員、市民等からの相談に対し助言や相談を行います。

相談内容により、保護者の了解を得て、関係学校との連携や関係機関の紹介及び相談の委嘱を行います。

面接相談：水曜日（9時～16時）

面接場所：青少年育成センター相談室

電話相談：月～金曜日（9時～16時）

#### (3) 青少年育成事業

##### ○環境浄化活動

青少年を取り巻く社会環境について、有害環境の把握に努め、関係業者の自主規制による協力要請を行っていきます。

##### ○青少年育成関係機関・団体との連携

青少年育成の関係機関・団体との連携を深め、対策を協議していきます。

- ・市立小・中学校（シェイクハンド学校訪問）
- ・見附地区学校警察等連絡協議会
- ・見附市子ども支援対策地域協議会

## 7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」

内閣府は、昭和54年の国際児童年を契機として、毎年7月を「青少年の非行・被害防止全国強調月間」と定め、関係省庁、都道府県、市町村、民間団体などと連携して総合的な非行・被害防止活動を展開しています。

県内の青少年をめぐる状況を見ると、少年非行における検挙・補導総数は減少傾向にあるものの、福祉犯の検挙数は増減を繰り返し、被害少年数は昨年に比べ増加しています。青少年の非行及び被害の両面において予断を許さない状況となっています。

このような状況を憂慮し、新潟県では、内閣府が実施する「青少年の非行・被害防止全国強調月間」にあわせ、関係機関・団体等が相互に協力・連携しながら、青少年の非行・被害防止に向けた諸事業を集中的に展開することとしています。

月間の重点事項は、(1)地域における非行・被害防止意識の高揚 (2)インターネット関連問題に対する取組強化 (3)青少年の性被害の防止 (4)青少年を取り巻く社会環境の浄化 (5)不良行為および犯罪等の防止 (6)いじめ・暴力行為問題への取組強化 (7)薬物乱用防止対策の取組強化 の七つです。

当青少年育成センターは、この月間の趣旨にあわせて、市民の非行防止意識の高揚、青少年を取り巻く社会環境の浄化、いじめ・暴力行為問題への取組強化などに取り組みます。ご協力をお願いします。

## 青少年を取り巻く社会環境の実態調査

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」の7月、新潟県福祉保健部の依頼で、見附市における「青少年を取り巻く社会環境の実態調査」を行います。青少年を取り巻く社会環境の実態を把握し、今後の青少年の非行・被害防止に資することが目的です。

青少年育成センター職員と青少年指導員が調査に当たります。調査項目は次の5点です。

- (1) 酒類及びタバコ販売の状況 (2) 書店における図書類取扱状況 (3) コンビニエンスストアの状況 (4) 図書類自動販売機の設置状況 (5) 書店以外の有害図書類販売店舗の状況

## 今年度の青少年指導員の方々を紹介します

街頭指導事業を推進して下さる「見附市青少年指導員」の皆様は次の26人です。7班編成で市内各所を巡回し、青少年に愛の声掛けをします。出会う多くの青少年から明るいあいさつをもらい、育成活動に熱が入ります。よろしくお願ひします。

(敬称略 ◎印は班長)

1班	◎高橋美佐子	清水芳夫	近藤卓	木津誠
2班	◎親松巖	関口光弘	神林拓馬	栗原美幸
3班	◎遠藤春枝	中澤高雄	小池淳一	小林礼子
4班	◎高橋誠	池田武志	見附高校PTA生活委員	
5班	◎板垣秀幸	佐藤宏子	原聖治	平賀直樹
6班	◎小林恵子	長谷川イウ	永井藤子	家坂愛子
7班	◎徳橋良子	若杉信子	吉野敬子	

年間街頭指導予定  
活動回数 69回  
(各班7回以上)  
従事人数 延257人

※市内の中学校、高等学校の先生6人とPTA役員5人が含まれています。



## 街頭指導報告から

3・4・5月

青少年指導員は、名札(指導員証)と腕章を着けて街頭指導に当たっています。悪い行為を注意するだけでなく、道行く青少年をあたたかく見守ります。

### 3月12日

駅では、高校が春休みのため、学生の乗降は少なかった。部活動帰りの女子高校生が笑顔で帰路につくところに出会った。

駐輪場奥の出入口付近に吸い殻が10本ほどまわって捨ててあった。

駐輪場2階は自転車が3~4台しかなかった。階段が錆びていて危険を感じた。

### 4月12日

見附駅では、新学期がスタートし、誰もが生き生きと明るい表情だった。新しい友との会話も楽しそうだった。

駐輪場2階に15~16台の駐輪があった。新品の自転車で新入生のもと思われた。しかし、止め枠は錆だらけで気の毒だった。

### 4月24日

見附駅で、雨天で、自転車通学生は少なかった。中に傘さし運転をしそうな高校生がいた。私たちを認めて、傘をささずに乗っていった。

地下通路に吸い殻が多く落ちていた。全て拾ってきれいにした。高校生と専門学校生らしき男子3人がたむろしていた。「たばこ吸わないようにね!」と声を掛けた。「はい」と返事があったが、彼らが立ち去った後、吸い殻が1本落ちていた。

男子高校生は、私たちの声掛けに1人の時は素直に聞き入れるが、複数人だと無視することが多い。

### 5月9日

高校1年生男子5人のグループに話し掛けた。健全な明るい気持ちのよい生徒たちだった。学生服の一番上のボタンをはずしていたので、注意した。